鶴岡市の地域公共交通
確保維持活性化の取組み

山形県鶴岡市
企画部地域振興課　伊藤慶也

1．鶴岡市の概況

■ 市町村合併（平成17年10月新設合併）

鶴岡市･藤島町･羽黒町･櫛引町･朝日村･温海町

■ 人口と世帯数 ※住民基本台帳より（H26.3.31）

133,831人・48,184世帯

うち65歳以上：40,689人(30.4%)

■ 面積：**1,311.51㎢**

東西43.1km・南北56.4km

■ 地勢と土地利用

北部：庄内平野　東南部：山岳丘陵地帯

西部は日本海

土地利用：田畑15%、山林61.1%、宅地2.4%

1．鶴岡市の概況（TOPIC）

クラゲ世界一の水族館
（加茂水族館リニューアルオープン…H26.6月）

オープン以来4ヵ月で50万人の来場を記録

ミズクラゲ大水槽
『クラゲドリームシアター』

藤沢周平のふるさと
（藤沢周平記念館：鶴岡公園内）

豊富な在来作物に恵まれた**豊かな食文化**
（ユネスコ創造都市ネットワーク加盟申請）

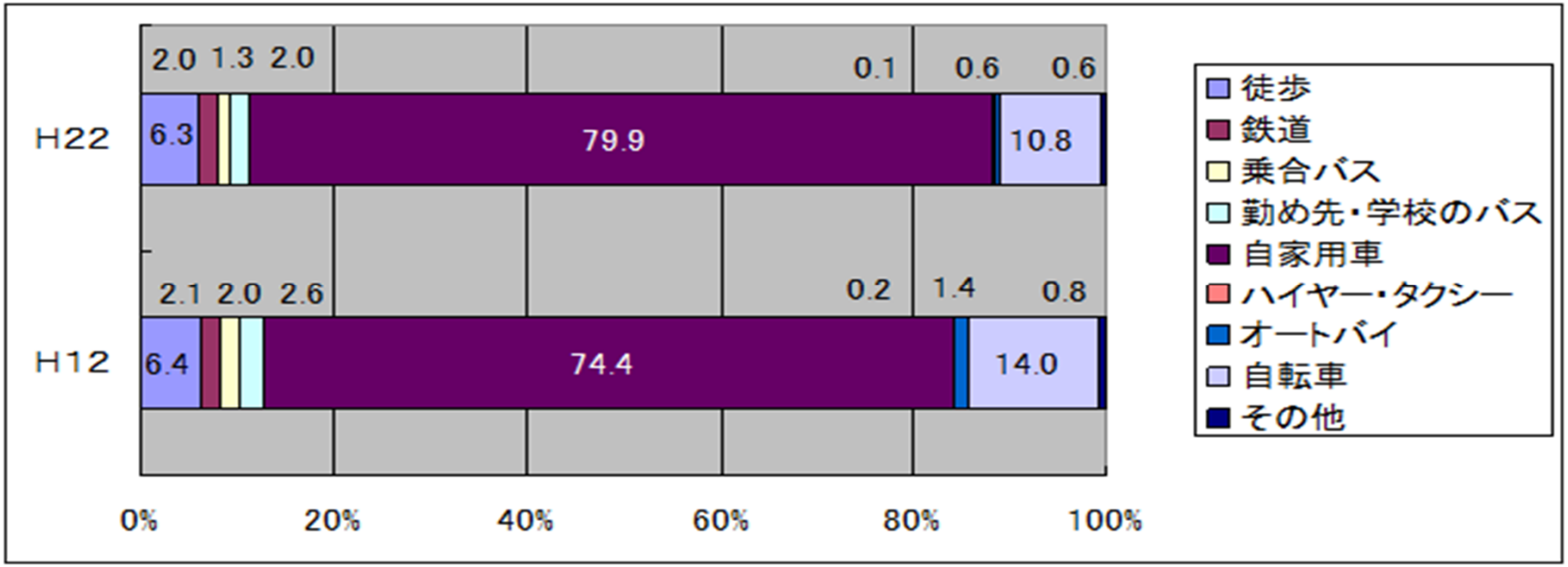
夢の繊維人工クモ糸 **“QMONOS”**
（慶応先端生命科学研究所を中心とするバイオクラスター）

２．現状と課題/公共交通の運行状況

- 空路：庄内空港
- 鉄道：ＪＲ東日本
- 路線バス：33路線
- 市運営有償運送3路線
- タクシー：13事業者
- デマンド交通：１地区
- その他：福祉有償運送（4法人3組合）

ぐるっとバス（観光バス）など

2．現状と課題/利用交通手段の分担率



国勢調査より

■ 平成12年

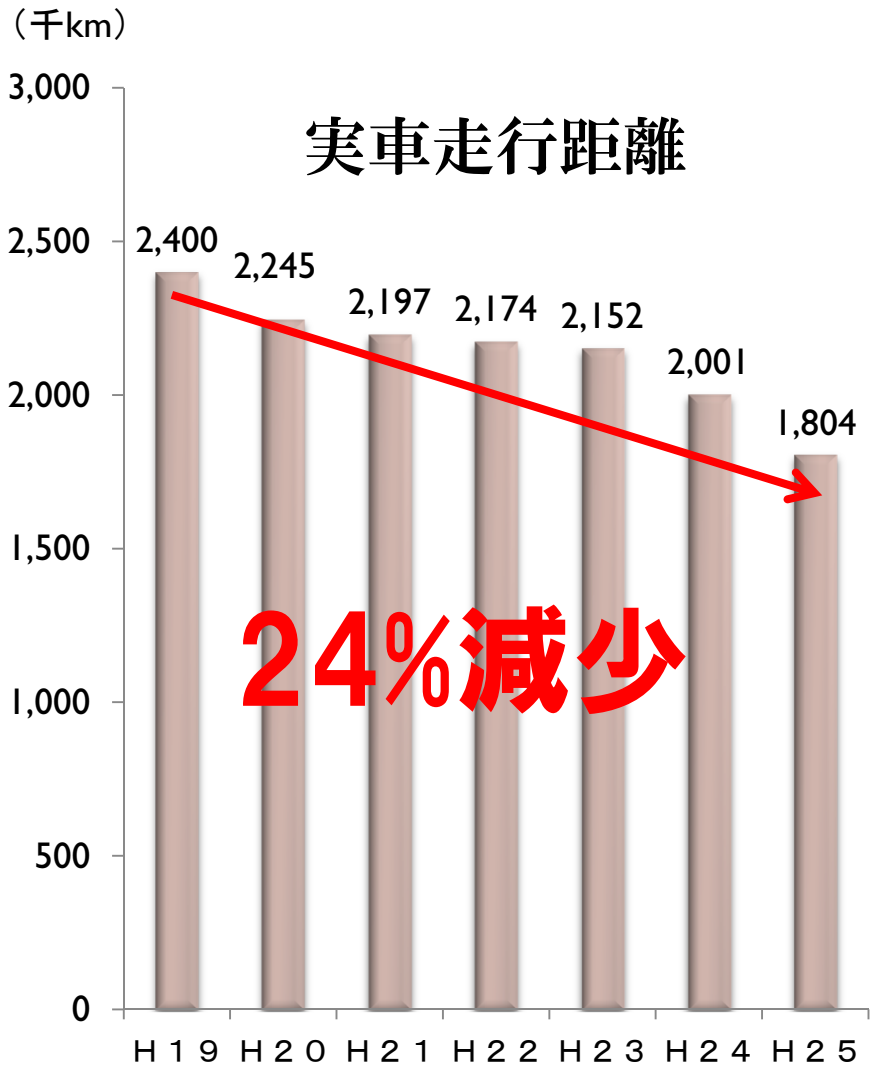
「自家用車」が74.4%と最も多く、次いで「自転車」が14.0%、「徒歩」が6.4%の順となっており、自動車への依存が高い。

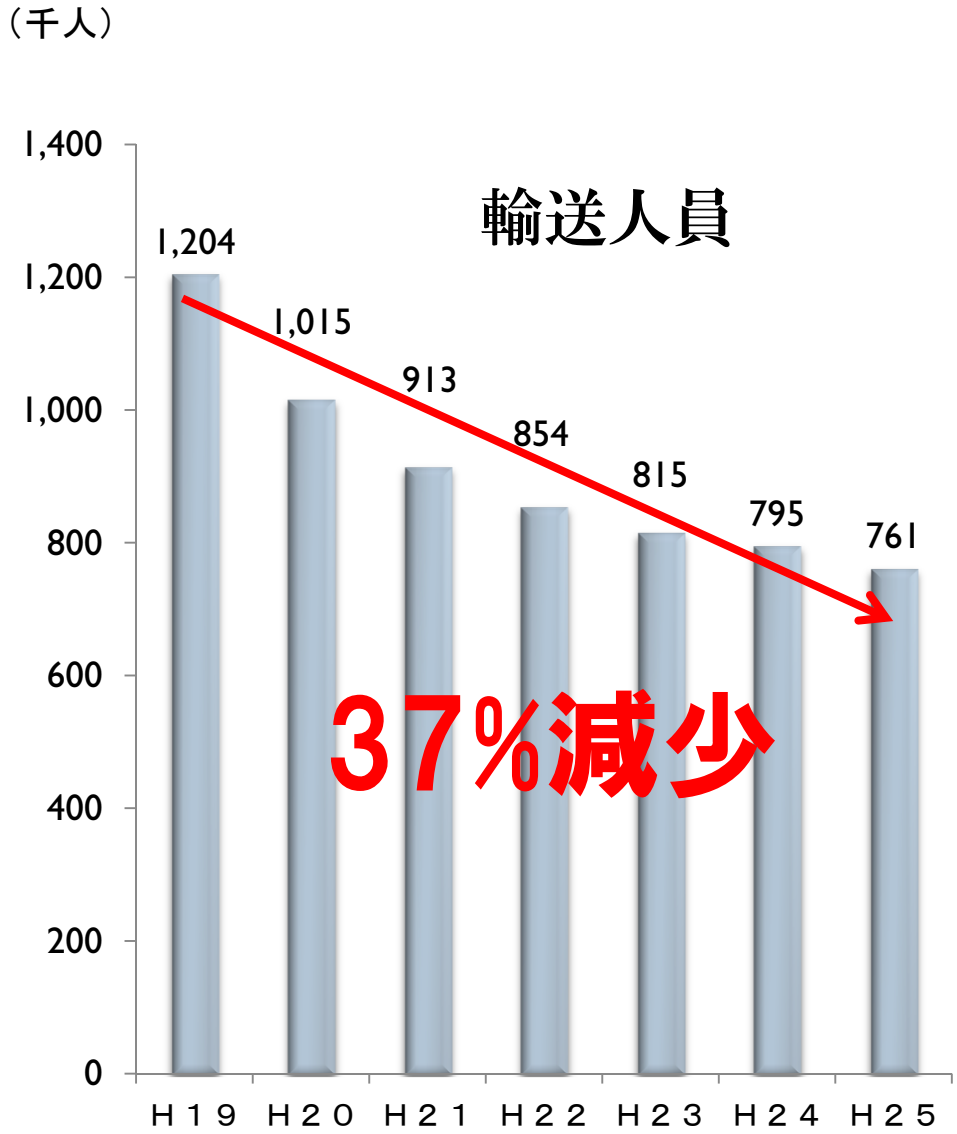
■ 平成22年

「自家用車」への依存度が79.9%と5.5ポイント上昇。

２．現状と課題/実車走行距離と輸送人員

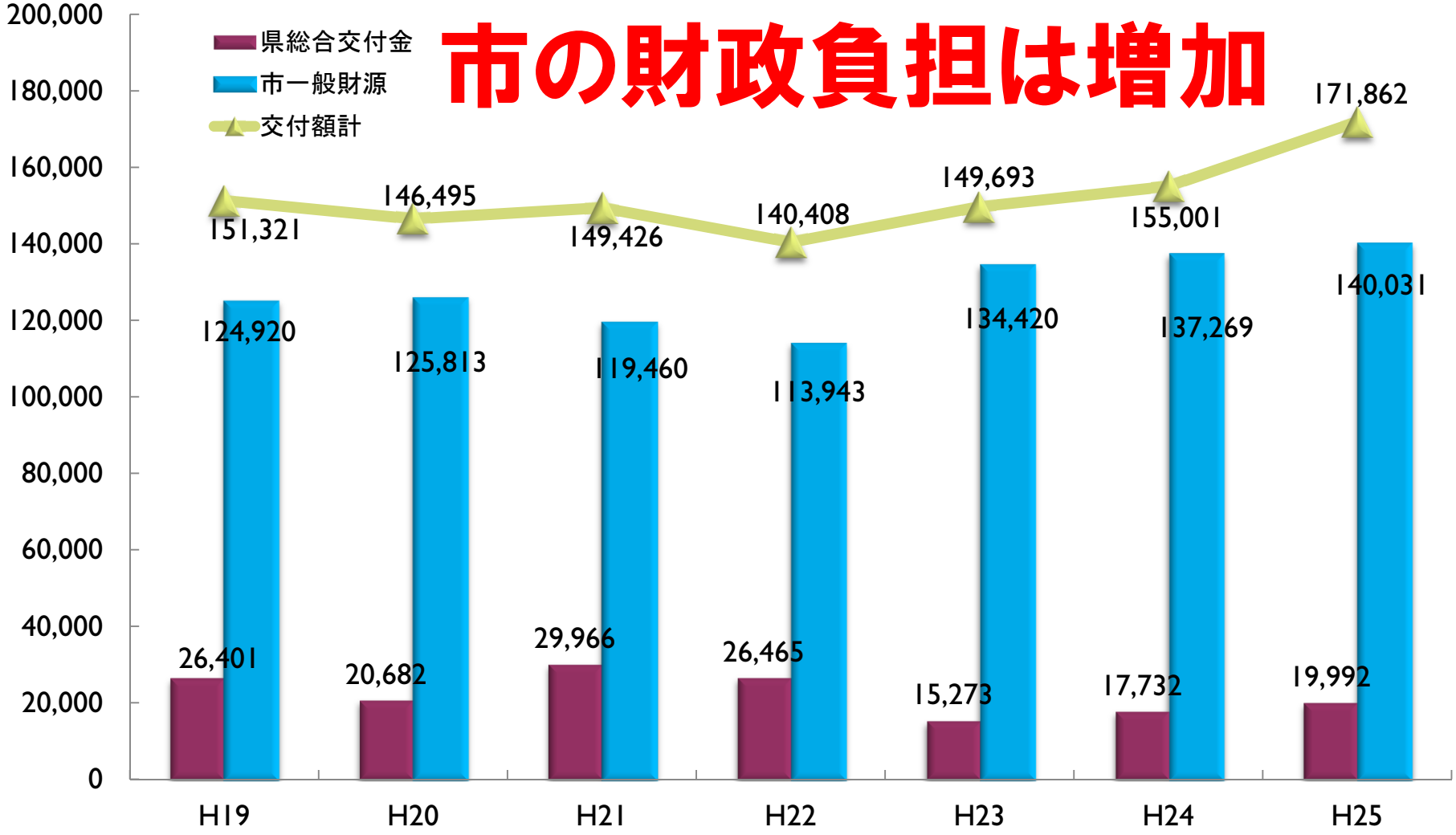
《民間バスと市バス合計》





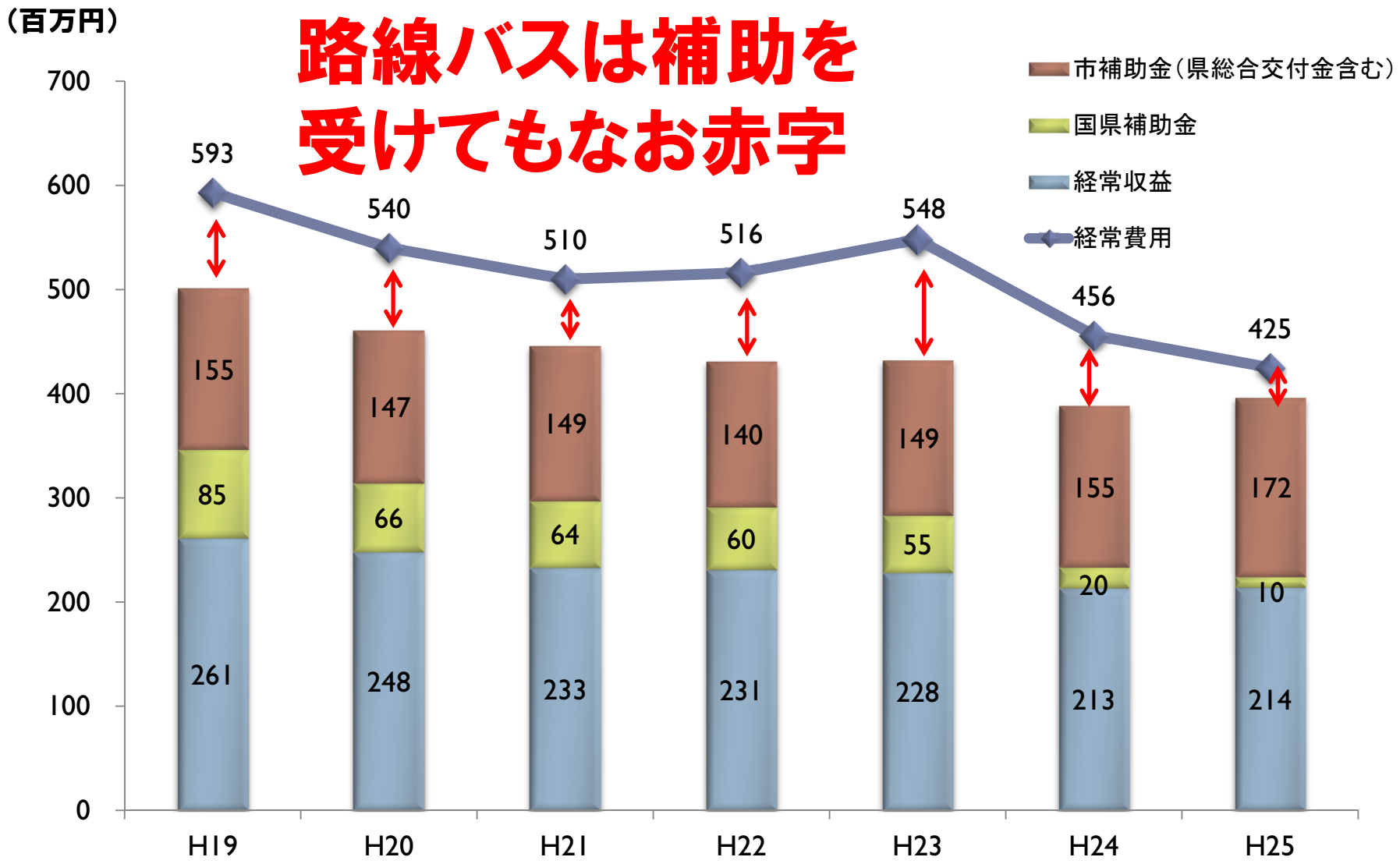
２．現状と課題/路線バス運行補助金

（単位：千円）



（生活交通バス維持費補助金・バス路線運行事業費補助金の推移）

２．現状と課題/路線バスの収支



２．現状と課題/負の連鎖

・利用できるバスがない！
・乗り継ぎが不便
↓
・サービス低下
利用者減少
背景
◆高い自家用車依存
◆通学利用の減少
（学校統合
→スクールバス化）
◆人口減少、過疎化
◆運行本数が少ない→不便
◆高い運賃負担など
減便
短縮
廃止
収支
悪化
運転手不足も深刻化
バス事業者 ⇒ 赤字経営
市 ⇒ 財政負担の増加

3．地域公共交通活性化の取組み

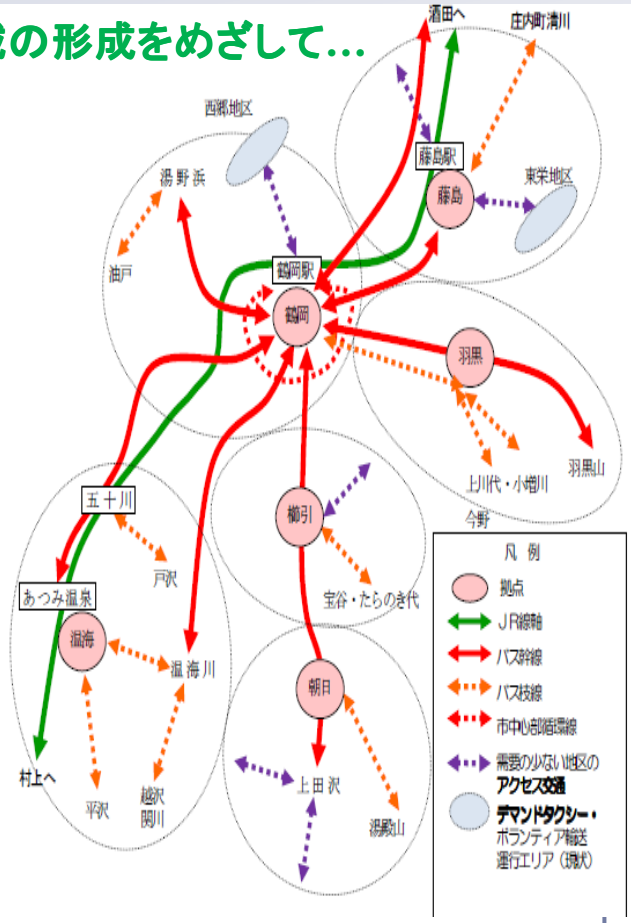
…市民の移動の足が確保され、安心して暮らせる質の高いまち・地域の形成をめざして…

地域公共交通総合連携計画 H26-30

《基本理念》
- ◇ 基本となるバス路線を中心に効率化
- ◇ 主たるバス路線は市の責務として維持
- ◇ その他路線の維持は地域主体を基本

《６つの目標》

① 既存の公共交通体系の見直し
② 公共交通を分かりやすく利用できるシステムの構築
③ まちづくりとバスの連携
④ 公共交通利用に対する市民意識の醸成
⑤ 「マイバス意識」による地域主体の交通維持体制の構築
⑥ 今後の公共交通のあり方を議論する場の開催



地域協働推進事業計画 H26-30

《計画の目的》

本市の地域特性に合った地域公共交通ネットワーク構築のためには、地域、交通事業者、行政等が一体的となって取組むことが効果的である。

通院や通学、買物など市民生活の移動手段を共に考え、協働・連携によって、地域公共交通の利便性の向上と利用促進を図る。

３．地域公共交通活性化の取組み

H26　具体的な取組み

１．路線見直し、効率化及びネットワーク再編等の検討

２．路線バス運行の支援（バス路線維持費補助金等）

３．分かりやすい公共交通情報の提供（地域ごとの時刻表等）

４．高齢者いきいきパス(割引サービス）で利用者負担軽減

５．「マイバス意識」による地域主体の利用促進支援

６．地域主体の公共交通システムの運行支援（デマンド）

７．地域公共交通シンポジウムや地域利用促進会議会の開催

４．取組み事例/地域の足を自ら創り守る①

…羽黒地域市営バス利用拡大協議会…

- 運行主体：鶴岡市
- 運行形態：市町村運営有償運送
- 運行車両：15人乗りワゴン車

  愛称「にこにこバス」
- 運行経緯：Ｓ58～（上川代・小増川線路線バス廃止代替）

  H19.10～（今野線路線バス廃止代替）
- 運行日・回数：２路線を隔日運行・週３日・１日３便
- 利用者数：H25年度 1,482人
- 利用料金：150円～650円（小学生等は半額）

４．取組み事例/地域の足を自ら創り守る①

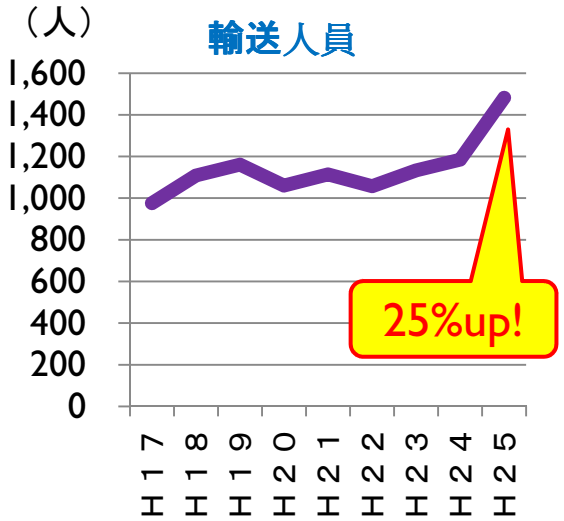
…羽黒地域市営バス利用拡大協議会…

■ 協議会の設立：

市営バスの利用拡大を目的に

地域（沿線区長）が主体となって

平成24年10月設立。



■ 協議会の主な取組み

・地域住民のニーズ把握と利用呼びかけ

・運行経路等見直し(H24)で利用者大幅増

・愛称「にこにこバス」を公募し認知度アップ

・地元温泉施設との提携で、ポイントカード発行

４．取組み事例/地域の足を自ら創り守る②

…藤島東栄地区デマンド交通運営協議会…

- 運行主体：藤島東栄地区
- 運行形態：一般乗合旅客自動車運送
- 運行車両：受託事業者のタクシー

  愛称「ふれあい号」
- 運行経緯：H21.1～（鶴岡添川線路線バス廃止代替）
- 運行日・回数：月曜～土曜日・１日３便
- 地域負担：200円/世帯（H25年度629世帯）
- 利用者数：H25年度 2,180人
- 利用料金：地域内400円・市街地800円（小学生等は半額）

４．取組み事例/地域の足を自ら創り守る②

…藤島東栄地区デマンド交通運営協議会…

■ 協議会の設立：

地域の移動手段を確保するため、

地区（町内会長等）が

主体となって平成21年1月設立。

■ 協議会の主な取組み

・地域住民のニーズ調査

（高齢者・高校生）

・会員の勧誘と利用の推進

・運行時間や運賃割引制度などの検討

【H26.11 版】

藤島東栄地区デマンドタクシー

『ふれあい号』利用のしおり

◆ ご利用の予約申込みは・・・ ◆

予約センター

電話番号 ２２－５２１２ に電話をしてください。

◆ 電話では・・・ ◆

①予約する人の

会員番号、氏名、町内会名、電話番号を伝えてください。

②ご利用の予約内容

行き 「いつ、何時の便、どこから、どこまで」

帰り 「いつ、何時の便、どこから、どこまで」

を伝えてください。

◆ ファックスでの申し込みもできます ◆

ファックス番号 ２２－４６７５

※ファックス用の申込書は、事務局（東栄地区地域活動センター内）

もしくは藤島庁舎総務企画課にあります。

◆ ふれあい号時刻表 ◆

上り（行き）	７：００	９：１５	１３：００
下り（帰り）	１１：３０	１４：３０	１７：３０

＊ 各時刻とも上りは芳川発、下りは藤岡（東栄地区地域活動センター内）発を示します。

◆ 運 行 日 ◆ 月～土曜日まで運行

＊ 日,祝日,年末年始(12月29日～1月３日)は運休します。

◆ 利用できる方 ◆

東栄地区、古部、大川原、谷地興屋の区域にお住まいの方。

◇ 利用者登録をお願いします ◇

利用者登録には、費用はかかりません。

利用者登録をされる方は、申込書に必要事項をご記入の上、お手数でも事務局（東栄地区地域活動センター内）もしくは、藤島庁舎総務企画課へお申し込みください。申込書は、事務局（東栄地区地域活動センター内）もしくは藤島庁舎総務企画課にあります。 ファックスでの利用者登録申込みも可能です。

表面に、乗降場所・運賃等を掲載しておりますのでご覧ください。

◆ 乗 降 地 ◆

乗降地は指定された場所で、下記の合計１９の所です。

① 藤島東村開発改善センター ② 東栄地区地域活動センター
③ こばやしクリニック ④ ＪＡ住吉たがわ藤島支所
⑤ マックスバリュ藤島店 ⑥ ＪＡグリーンふじしま店
⑦ 石塚内科胃腸科医院 ⑧ 藤島行合
⑨ 藤島ふれあいセンター ⑩ 藤島駅
⑪ エスモール ⑫ 藤吉内科医院
⑬ 丘内病院 ⑭ 藤岡市役所 ⑮ 青藤胃腸病院
⑯ 宮坂病院 ⑰ 藤岡坂辺病院 ⑱ Ａコープふじしま店
⑲ すずき整形外科

＊ 行きは 自宅から乗降地まで、帰りは 乗降地から自宅まで は送迎します。

◆ 運 賃 ◆

	地区内	地区外	藤岡市街地	備 考
大人（高校生）	３００円	４００円	８００円	
小学生（１年生）	１５０円	２００円	４００円	中学生以上
障がい者 等	１５０円	２００円	４００円	
回 数 券	―	―	４００円	手帳所持者
			２０回分を２２回券	

＊ 地 区 内：東栄地区内または藤岡地区内での利用の場合。

地 域 内：東栄から藤岡へ、または藤岡から東栄への利用の場合。

藤岡市街地：東栄または藤岡から藤岡市街地への利用の場合。

＊ 小学生未満の乳幼児は無料です。

＊ 回数券は、事務局（東栄地区地域活動センター内）と藤岡庁舎総務企画課で取り扱っています。

◆ 利用上の注意 ◆

① 予約は、利用予定日前日の１週間前から前日の午後５時まで、予約センターに電話２２－５２１２または ファックス２２－４６７５で連絡してください。

② 予約は、日祝日を除いて１日前の午後５時まで。

予約時間は、平日８時３０分から午後５時までです。

デマンドタクシー『ふれあい号』は、指定の方に乗り合いをお願いします。

通常のタクシーと違い、ご利用の方に乗り合わせをお願いします。

（東栄地区地域活動センター内） TEL 64-2123 FAX 64-6113

藤岡市藤岡庁舎総務企画課 TEL 64-2111（代表） FAX 64-4280

４．取組み事例/みんなで考えよう“地域の足を”

…地域公共交通シンポジウム《H26.9.20開催》⇒　地域単位の利用促進へ…

～地域の“足”をみんなで考え、元気にしよう！～

市民、地域、婦人、高齢者団体、交通事業者、行政機関、産業団体など、120名が参加。若菜千穂氏の基調講演をはじめ、先進地事例発表、トークセッションなど通じて、地域公共交通の現状と課題を共有し、今後のあり方を考えた。

今後の地域公共交通の活性化のためには、市民、地域、事業者、行政など地域ぐるみの連携と実践の必要性を呼びかけた。

地域ごとの取組みへ

地域の環境、特性、ニーズにあった“地域の足”を確保維持し、利用促進活動を実践していくために、地域単位に利用促進協議会（仮称）を組織化を進める。

（写真は温海地域公共交通検討会）

４．取組み事例/バスをもっと身近に、親しみを…

小学生「バスの絵」コンテスト　～あったら楽しいな♪こんなバス～

鶴岡市長賞（１点）

「小さな世界へ出発だあ～！」

朝暘第二小学校5年　佐藤美沙綺 さん

草花やキノコ、それにカエルやハチなど自然の様子をよく観察し、とても楽嗜らしく描いています。その小さな世界を友達といっしょに楽しく 探検するてんとう虫のバスは、発想力、描写力ともに優れた作品です。

鶴岡市地域公共交通活性化協議会長賞（２点）

「友だちたくさん！学校バス♪」

朝暘第二小学校3年　佐藤　奏 さん

学校に通学するのが楽しくなるような発想力に優れた作品です。『次はどこへ出かけて学ぶのか。』みんなワクワクしている様子がよく伝わってきます。みんなの笑顔に、運転手さんも楽しそうです。

「ふねバス イン レインボーカーニバル」

羽黒第二小学校2年　丸山飛和くん

のびのびと画面いっぱいに力強く描かれた、柔軟で豊かな発想力に満ちた楽嗜らしい作品です。こんなに賑やかで楽しそうな水上バスがあったら、誰でも一度は乗ってみたくなるでしょうね。

あったら楽しいな♪　こんなバス賞（３点）

「カラフルバス」

朝暘第五小学校5年　三浦悠里 さん

自分の身のまわりにある好きな物を、一つ一つ丁寧かつとてもカラフルに描き、自由な想像力が表現されています。欲しいものは何でもそろうような夢のある作品です。

「海の中をはしるバス」

斎小学校2年　菅原果歩 さん

クラゲやタコ、カニにお魚など、海中の生き物がたくさん描かれている夢のある作品です。こんなバスで世界中の海を走れたら、きっと楽嗜らしい発見ができそうですね。

「ほっきょく行きのバス！！」

渡前小学校2年　加藤はる さん

北極のキラキラ輝く星空に、雪が美しく舞っている様子をよく描いた、夢とロマンあふれる想像力豊かな作品です。北極では どんな楽しいことが待っているのかな。

市内27の小学校から207点の“夢のあるバスの絵”が寄せられ、各地を会場に展示することで、バスへの関心を高めることができた。

「バスの絵」展示バス

市内33路線のバス約60台に、応募してくれた子供たちの地域合わせてバスの絵を展示。

子どもたちの夢あふれるバスの絵が乗客を和ませている。

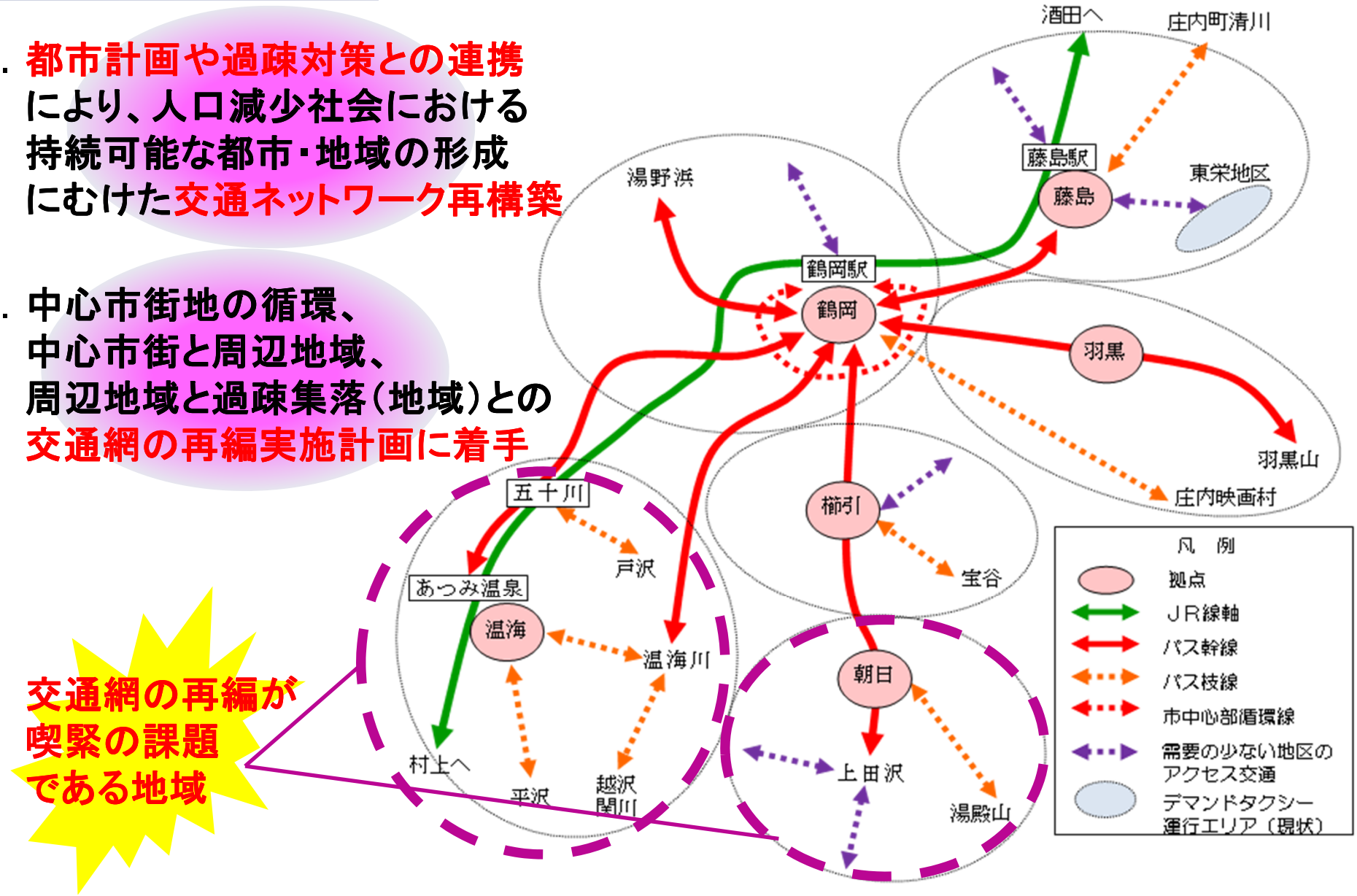
５．新たな課題

旧21条路線の維持 又は代替手段の確保	・交通事業者より旧21条路線（15路線）の段階的な見直し提案により、代替手段の検討が急務
人口減少社会における持続可能な都市・地域の形成に向けた公共交通網の再構築	・まちづくり（都市計画・過疎対策）との連携 ・中心市街地と旧町村中心部、さらに集落（地域）との交通ネットワーク再編・構築
過疎集落（地域）・交通空白地帯における生活交通の確保	・移動手段がない高齢者のお出かけ支援（通院、買物等） ・費用負担の軽減
事業者・行政・地域による 協働及び負担のあり方	・持続可能な生活路線を確保するため、三者の具体的な役割分担と費用負担の基準を検討

6．今後の対応方針

1．**都市計画や過疎対策との連携**により、人口減少社会における持続可能な都市・地域の形成にむけた**交通ネットワーク再構築**

2．中心市街地の循環、中心市街と周辺地域、周辺地域と過疎集落（地域）との**交通網の再編実施計画に着手**

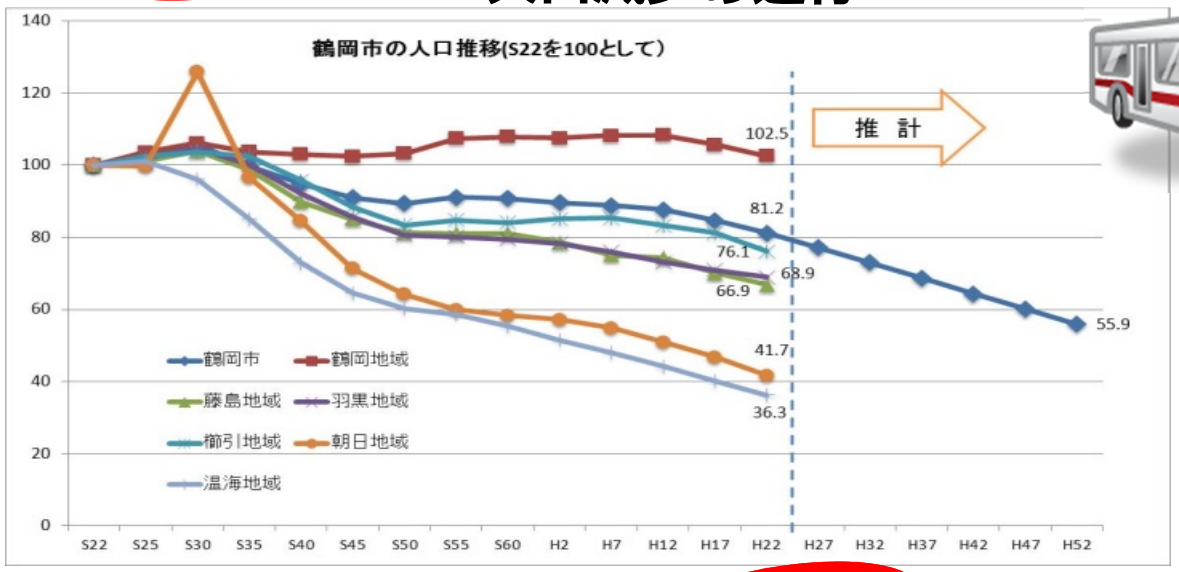


交通網の再編が喫緊の課題である地域

7. 地域の課題解決イメージ

～超高齢化・人口減少社会における持続可能な朝日地域の形成～

課題①　人口減少の進行

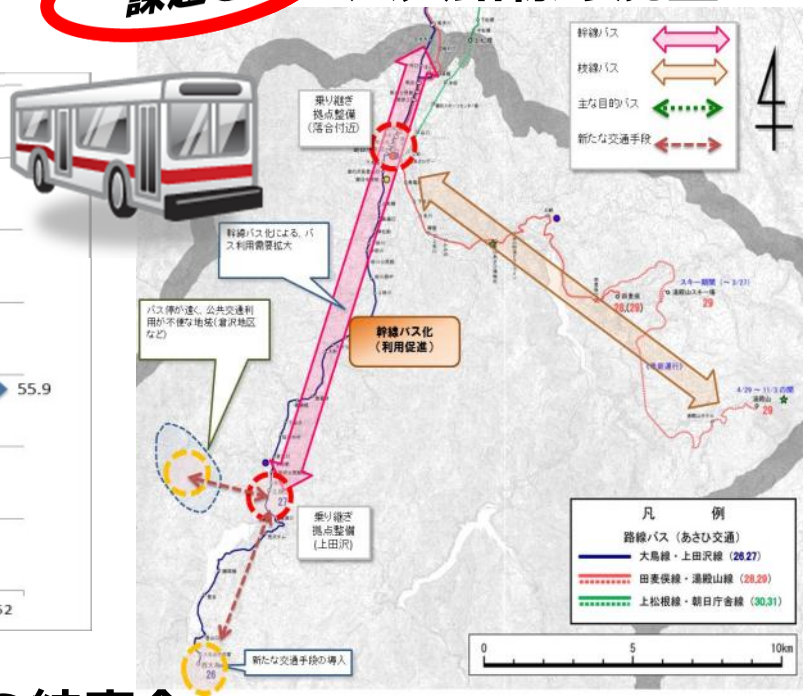


H17:142,384人
→H26:133,831人
（▲8,553人）
※特に旧過疎市町村である朝日・温海地域において減少傾向が顕著。

課題②　小学校の統廃合

○複式学級の解消(H23～H29)
○小学校　40校→29校
○朝日地域内　3校→1校
※廃校の利活用について検討が必要。

課題③　バス路線の廃止



収支の悪化、利用者の減少、運転手不足を理由に、運行会社から幹線を除き、段階的な路線の廃止提案を受けており、新たな交通システムの構築が急務。
→　廃止提案
朝日地域の5路線

7．地域の課題解決イメージ

～超高齢化・人口減少社会における持続可能な朝日地域の形成～

○廃校の活用

※複数の機能を集約
- 広域組織の活動拠点
- 農産物の加工・直売
- 宿泊施設
- 賃貸オフィスの開設

【事業フロー】

※住民主体

①モニター調査

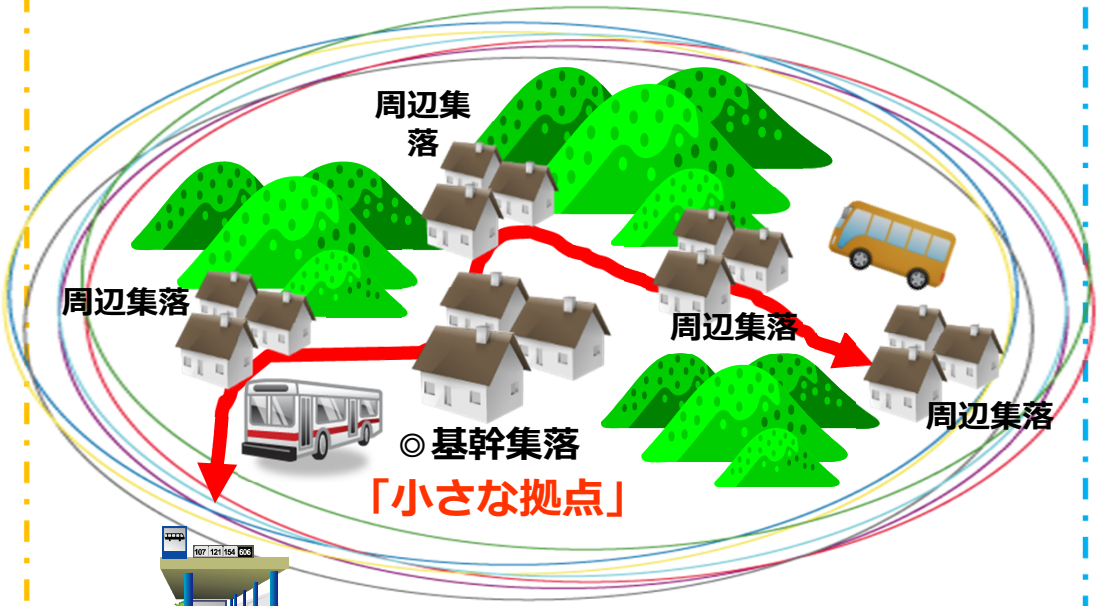
↓

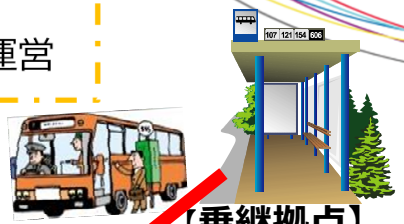
②廃校舎の改修

↓

③施設の管理・運営

ふるさと集落生活圏（※旧小学校区）





【乗継拠点】
地域の中心
（旧市町村）

○生活交通の確保・維持

➢既存路線の見直し

➢新交通システム導入
- 車両購入
- 乗り継ぎ拠点整備
- バス停の整備

➢地域とのタイアップ
- 需要の掘り起し
- バスの利用促進

○地域に対する寄り添い型の支援

➢集落支援員の設置

→　集落ビジョンの策定・実践事業への支援

➢地域おこし協力隊の設置

→　各種地域協力活動に従事

（例）廃校の利活用、買い物支援、地場産品の加工・開発

ご清聴ありがとうございました。